広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

10月号

平成9年（1997）

NO.491

それいけ！かぼちゃマン

第50回 かぼちゃ大運動会

（宮宿小・9/21）

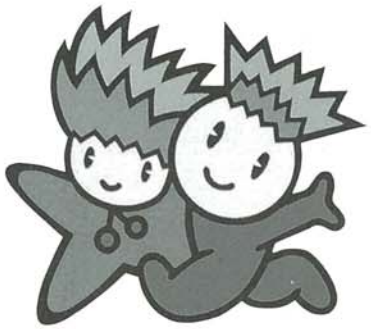
ハツラツ高齢者の交流の祭典

ソフトボール交流大会県代表としてプレーする「シルバー朝日ベアーズ」（対三重県・白鷹町ソフトボール場）

第10回全国健康福祉祭山形大会 ねんりんピック'97山形

人生のねんりんを重ね、豊かな知識と経験を積んだ高齢者のみなさんを中心としたスポーツ・文化の祭典が、全国健康福祉祭「ねんりんピック」です。

今年で十回と節目の大会となった「ねんりんピック'97山形」が九月二十日から四日間にわたり県内各地で開催され、世代、地域を超えた交流の輪が広がりました。



全国に広がる交流の輪

「すてきに輝け　ねんりん青春」をテーマにした第十回全国健康福祉祭山形大会（ねんりんピック'97山形）が九月二十日、天童市の県総合運動公園で総合開会式を行い開幕しました。

二十三日までの四日間、スポーツ系十六種目、文化系五種目の計二十一種目の交流大会が、県内十九市町を会場に繰り広げられ、選手、役員の参加人数は約一万四千四百人と大会史上最大の規模になりました。

山形県からの出場は四千六百五十五人を数え、朝日町からも約六十人が参加。全国から訪れた多くの参加者と交流の輪を広げながら、「りんごとワインの里朝日町」をピーアール。初対面にもかかわらず古くからの友人のように親しく会話を交わしながら、世代、地域を超えた交流が繰り広げられました。

ねんりんピックは高齢者の〝国体〟

世界一の長寿国となった日本は、高齢化が急激に進み高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会活動への参加、世代間交流などが課題となっています。そのような中で、活力ある長寿社会を築いていこうと、昭和六十三年に「ねんりんピック」が始まりました。

この大会は、全国の主に六十歳以上の方が参加する「高齢者の国体」ともいわれていますが、競技の成績を競うことを第一の目的とするのではありません。スポーツや文化などの交流大会、健康・福祉・生きがいづくりのイベントを開催し、交流を通した高齢者同士の心のネットワークを築いていこうというものです。交流大会には、ゲートボー

①ソフトボール交流大会に出場した「シルバー朝日ベアーズ」
②ゲートボール交流大会に出場した「朝日町チーム」
③地域文化伝承館のはつらつステージで角田流大谷獅子踊りを披露した「朝日町大谷獅子踊保存会」
④グラウンドゴルフ交流大会に出場した長岡石五郎さん（大谷五）
⑤健康フェアで郷土料理を調理し展示した「朝日町食生活改善推進協議会」

ルやグラウンドゴルフ、囲碁、将棋、俳句などねんりんピックならではの種目もあります。

朝日町から約六十人が参加

朝日町からのスポーツ交流大会への出場は、ソフトボールにシルバー朝日ベアーズ（鈴木三郎監督・西町）、ゲートボールに朝日町チーム（熊谷小三郎監督・新宿）、グラウンドゴルフに長岡石五郎さん（大谷五）の二十四人が出場しました。

また、関連イベントの地域文化伝承館では、朝日町大谷獅子踊保存会（白田慎一会長・大谷六）が角田流大谷獅子踊りを披露。健康フェアには朝日町食生活改善推進協議会（松田ミサヲ会長・立木）が心あたたまる郷土料理を調理し展示しました。この他にも大会ボランティアとして協力された方もいます。

大会に出場されたみなさんは、生きがいや趣味を通しながら積極的に社会活動に参加し、いきいきと活動している方たちばかりのようです。

スポーツ交流大会の成績は、いずれのみなさんも残念ながら決勝トーナメント・リーグ進出を果たすことができませんでした。しかし、今大会に向け日ごろ練習に励んできた選手はもちろんのこと、縁の下の力持ちに徹してくれた控え選手、練習で指導してくれた方や当日応援に駆けつけてくれた町民のみなさんなど、みんなの思いが一つになり大きな力となって、プレーすることができたのではないでしょうか。

参加型の長寿社会を目指して

朝日町の高齢化は急激に進行しており、平成九年四月一日現在の高齢化率（総人口に占める六十五歳以上の人口割合）は、二七・六%になりました。全国的にみても高齢化率はまだまだ進むといわれており、これからは高齢者の積極的な社会活動への参加や趣味などによる生きがいづくり、健康づくりがますます必要になってきます。

ねんりんピックに参加したみなさんは、健康で生きがいを持ち、安心して生涯を過ごしながら社会に参加する「参加型の長寿社会」を実践している人といえるのではないでしょうか。

ソフトボール交流会に参加した方たちが、「練習で息子と同じような年代から教えてもらったけどよ、どなられても思わず『はい！はい！』て学生みたいに返事してしまうずね。家では威張ってばっかりいるのによ」と笑いながら語り合っていました。これは正に世代を超えた交流であり、豊かな生活をする上でなくてはならないものです。

長寿を喜び生きがいある人生を送るためにも、世代や地域を超えた交流を実践していきたいものです。ほんの小さなコミュニケーションが大きな波紋となり、地域すべてに「いきいきの輪」が広がっていくことは間違いありません。

議会報告◇九月定例町議会

議会

九月定例議会が九月十一日から十八日まで開催されました。人事案件や一般会計補正予算、条例改正など十八の議案が上程され、すべて原案どおり可決されました。町政報告などの主な内容は次のとおりです。

議会風景

■人事

■町教育委員会委員の再任同意

九月三十日で任期満了となる現委員の白田和好氏（大谷一・41歳）が再任同意されました。

■人権擁護委員の推薦同意

平成十年一月三十一日で任期満了となる人権擁護委員に松田俊子氏（太郎二・69歳）、渡辺久喜氏（西町・64歳）、志藤正紀氏（川通・57歳）が推薦同意されました。

■町政報告

【総務課】

本年度の普通交付税の算出が終了し、二十六億五千五百四十一万円となり、前年度比で三・五%の伸びとなりました。

七月十八日未明の交通事故で、若き職員一人を失いました。このことを踏まえ、これまでに安全運転講習会を二度にわたり開催するほか、運転免許証を持つ全職員の運転記録証明を求め、交通安全意識の高揚と全職員が模範運転者であるよう指導したところです。

【企画課】

（仮称）生涯学習センターについて、名称を「朝日町エコミュージアムコアセンター施設整備」とし、提案競技（プロポーザル）の要項を決定しました。これまでに県内五社、県外五社の設計業者を設定し募集要項を送付したところです。提案書の審査員には、東北芸術工科大学より三人の教授、東京の建築家一人、町民代表一人、町長の六人としました。今後は公開ヒアリングを実施して、最優秀提案者を決定する予定です。

左沢高等学校朝日分校について県教育委員会では、来年度の生徒募集を停止したい考えであり、十月の定例教育委員会で決定したいとの話がありました。

左沢高等学校漆山校長より、これまでの生徒や保護者との話し合いの結果、在校生については十分に配慮することで、学校としての最終集約を得たとの報告がありました。

町としては、県教育委員会から正式に募集停止の話があれば、代替え案について強力に運動を行っていく考えであります。

志藤六郎村おこし基金補助金に五件の申請がありました。運営委員会で審査した結果、五件を決定しました。

【生活福祉課】

九月より早朝、夕方、休日にホームヘルパーの派遣拡大を実施し、介護者に対する支援を強化しました。

今年に入り交通死亡事故が多発していることから、七月十八日に交通事故防止緊急対策会議を開催。七月二十二日から八月二十一日までの期間、町交通死亡事故抑止対策本部を設置し各種運動を展開しました。また、九月三十日に交通安全町民大会を開催し、交通安全の意識の高揚を図ります。

【商工観光課】

栗木沢地内に予定しているヌーランド整備事業については、水力発電施設周辺地域交付金の交付が決定になりました。早急に工事を発注したい考えです。

【農林課】

台風8号による農業施設災害については、被害を受けた各受益者に応急措置などをお願いし、大変なご努力を願ってきたところであります。復旧費が多額になる箇所については、国庫補助災害復旧工事として十五カ所、町単独災害復旧工事として六十六カ所を計画しています。林道災害は、国庫補助災害復旧工事で四カ所のほか、町単独での復旧工事を計画しています。

【建設課】

台風8号による土木災害については三十四カ所となり、これまでに十九カ所の災害査定を受けました。残りについては第三次査定に計画されています。

今後の町全体の下排水処理方

法について、全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。この結果を踏まえて、これからの下水道整備計画を構築していく考えです。

【朝日自然観】

八月までの入り込み客数は六万五千二百人で、前年同期と比較して八・五%の増となりました。入り込み客数の増加により、全体的な総売り上げは八千六百万円で前年を一一%、約八百六十万円上回っています。

【町立病院】

整形外科医師につきましては、山形大学医学部整形外科教授より、医局が充実されしだい要請に応えたいとのことであります。

【農業委員会】

八月十一日に農政部会を開催し、農業委員会は、地域での計画的な土地利用の推進、優良農地の安全確保と有効利用という許認可業務だけでなく、農政課題などに積極的に参画すべきであると論議されました。地域の特性を踏まえ活力ある委員会活動を展開していきます。

【管理課】

大谷小学校改築整備は、高度な設計能力のある建築設計業者七社を指名し事業提案を要請しました。提案内容について慎重に審査した結果、山形市の鈴木建築設計事務所の作品を採用することに決定しました。

前年度より小・中学校の外国語教育の強化と町民の交流推進の一環として、外国語指導助手マーシャルイン・ニール氏が着任しています。さらに一年間契約更新し、町民の外国語指導を引き続き担当していただきます。

二十一世紀に向けた新しい教育の在り方として、国においても中教審の答申を受けて教育改革が進められています。当町においても学校の統廃合のみならず、今後における町教育を誤りなく進めるためにも他市町村に習って、「教育センター」の設置が必要であると考えています。この度、検討委員会を発足させ具体的な検討を進めているところです。

【生涯学習課】

青少年健全育成にとって好ましくない図書の自動販売機が、七月、八月中にそれぞれ一台づつ国道287号線松原地内と栄町地内に設置されました。町青少年育成町民会議総会において、この事態の緊急性を確認し、区長会の協力で文書をもって啓蒙、周知を図ったところです。これからも明るく住みよい環境づくりのために、町民のみなさんの協力をお願いします。

ジャーナリストの江森陽弘さんが講演

第6回健康と福祉のつどい

第6回健康と福祉のつどいが9月27日、町中央公民館で開催されました。

式典では寝たきり老人、障害者などを長期的に介護した福祉功労者や献血功労者の表彰が行われました。また鈴木三郎さん（西町）による「ねんりんピックに参加して」と題した体験発表では、「高齢者も積極的に社会に参加し、いきいきと暮らしていきたい」と発表しました。

午後からは、ジャーナリストの江森陽弘さんの「高齢化社会と福祉の心」と題した講演が行われ、約250人の参加者は福祉の心の大切さを実感していました。

福祉功労者表彰を受賞された方は次のとおりです。

◆福祉功労者

清野優子氏（小原）・鈴木きよ子氏（小原）・鈴木とくゑ氏（西船渡）・白田さたゑ氏（大谷六）・堀邦枝氏（中沢）・堀ヨスノ氏（舟渡）・鈴木すゑ氏（大暮山）

中郷住宅団地東側に造成予定

55区画の住宅団地を造成

平成10年から分譲開始

町ではこれまでに定住対策の一環として、中郷住宅団地（三十区画・大町）や大谷住宅団地（十二区画・大谷五）の造成分譲を行ってきました。さらに定住対策を促進するため、中郷住宅団地東側に新たな住宅団地を平成十年度より造成する計画です。

計画概要は、これまで最大規模の約二万七千平方メートル、五十五区画を造成分譲するものです。関連施設は幹線道路及び区画内道路、上水道、公園、防火水槽が整備されます。

分譲開始は平成十年秋より行う予定です。

山形県交通安全シンボルマーク

交通安全の決意新たに

交通安全町民大会

大会宣言を読み上げる柴田とし子さん（大町）

交通安全町民大会が九月三十日、町役場前駐車場で開催されました。

同大会は、今年に入り町内での交通事故により四人の尊い命が失われ、依然として多発傾向にある交通事故をストップしようと、三年ぶりに開催されたものです。この日は三保育園のかもしかクラブや小学生、長寿クラブ、町交通安全推進協議会など各団体から約六百人が参加。交通安全キャラバンが町内全域を巡回した後、町内全ドライバーによる「酒飲み運転をしません」など四項目からなる誓約書を浅岡清二さん（西町）が全ドライバーを代表して清野隆町長に提出しました。

その後、参加十三団体が交通安全スローガンの発表と決意表明。さらに、町交通安全母の会の柴田とし子さん（大町）が「交通事故のない明るく住みよい朝日町の実現に努めよう」とする大会宣言を読み上げ、交通事故防止の決意を新たにしました。

西五百川小マーチングバンドの演奏が大会を盛り上げた

朝日山麓家族旅行村
Asahi自然観だより ④

空気神社のステンレス鏡に映し出される木の葉も赤や黄色に色づき始め、すっかり秋らしくなってきました。天気の良い日はちょっぴり足をのばし、朝日自然観でおいしい空気とおいしい料理、色鮮やかな紅葉で大きな感動を味わってみませんか。

“Asahi自然観　森のときめき塾”
ワインとチーズフォンデュで
楽しい一夜を！

朝日町ワインは、豊かな自然の中で育まれた地元産のブドウが使われており「りんごとワインの里」朝日町の顔になっています。しかし、現在販売されている多くの種類について、すべて理解している方は少ないのではないでしょうか。

そこで朝日自然観では、朝日町の宝である朝日町ワインをもっと知っていただくために、ワインとチーズフォンデュでの楽しいひととき「ワインの集い」を開催します。当日は、朝日町ワイン全種類を用意します。飲み比べてあなたに合うワインを探してみてはいかがでしょう。

☆日　時　11月11日(火)午後６時30分
☆会　場　朝日自然観（送迎バス有り）
☆会　費　3,800円（サービス料、消費税込み）
☆申込先　朝日自然観（☎83−7111）

10月１日付で着任した西瀬内科医長

町立病院に西瀬先生が着任

これまで町立病院の内科医長だった伊藤剛先生の鶴岡市立荘内病院への異動に伴い、後任に10月１日付けで西瀬雄子先生が着任しました。西瀬先生はこれまで米沢市立病院などに勤務。消化器内科が専門です。

西瀬先生に、着任されての抱負をお聞きしたところ「患者さんとは笑顔で接したいと思っています。心配ごとがあれば気軽に相談してください」と笑顔で語ってくれました。

新調された大谷神楽（大谷風神祭）

宝くじ助成事業で獅子頭を新調

今年度の自治総合センター一般コミュニティ助成事業（宝くじ助成）の補助を受け、暴れ獅子で有名な大谷神楽一式が整備されました。獅子頭や後布をはじめ、裃（かみしも）、半纏（はんてん）などの衣装類、提灯（ちょうちん）、太刀などの小物類も新調され、今年も盛大に大谷風神祭が催されました。

大谷連合区では、より一層各世代間の交流が促進されることを喜ぶとともに、この伝統行事を守り伝えていこうと誓いあっています。

町の教育行政に尽力

朝日町教育功労者表彰

町の教育の分野で長年にわたり貢献されたみなさんに九月二十六日、町教育委員会より教育功労賞が贈られました。受賞者は次の九人のみなさんです。

受賞者のみなさん

●**小川久子氏（太郎一）**
公立学校教員として勤続三十九年、内二十八年間にわたり町立学校に勤務し、児童生徒の教育に尽力されると共に地域文化の振興発展に貢献されました。

●**村上宗紀氏（左沢）**
公立学校教員として勤続三十八年、内十二年間にわたり町立学校に勤務し、その間校長会長として学校経営、地域文化の振興発展に貢献されました。

●**鈴木キヨ子氏（沼向）**
平成四年から五年間にわたり朝日町連合婦人会副会長および会長として、地域文化の向上と社会教育の振興発展に貢献されました。

●**阿部チヨ氏（松程）**
平成五年から四年間にわたり朝日町連合婦人会副会長として、地域文化の向上と社会教育の振興発展に貢献されました。

●**阿部美知氏（松程）**
昭和四十七年から朝日町芸術文化協議会副会長として、芸術文化の向上と振興発展に貢献されました。

●**佐藤安正氏（小原）**
昭和五十六年から十年間にわたり和合ミニバスケットボールスポーツ少年団の指導者として、子供たちの健全育成と社会体育の振興発展に貢献されました。

●**石塚悦雄氏（四ノ沢）**
昭和六十二年から十年間にわたり、朝日町野球スポーツ少年団の指導者として、子供たちの健全育成と社会体育の振興発展に貢献されました。

●**鈴木俊一氏（大町）**
昭和六十二年から十年間にわたり、朝日町野球スポーツ少年団の指導者として、子供たちの健全育成と社会体育の振興発展に貢献されました。

●**清野文一氏（四ノ沢）**
昭和六十二年から十年間にわたり、朝日町野球スポーツ少年団の指導者として、子供たちの健全育成と社会体育の振興発展に貢献されました。

▲カボチャを使った競技のひとつ「カボチャデカパンリレー」

今

賞品がすべてカボチャというユニークな運動会として全国的に有名な〝かぼちゃ運動会〟が九月二十一日、宮宿小学校（大泉芳光校長、児童数百八十二人）で開催されました。

かぼちゃ運動会は戦後間もない昭和二十三年、戦争の傷をいやし地区民の士気を盛り上げようと、賞品として各家庭からカボチャやサツマイモを持ち寄ったのが始まりです。今年で五十周年を迎えたのを記念して、児童たちによる「50回」の人文字や五十年の歴史を振り返る写真が展示されるなど、家族みんなが楽しみ懐かしんだ大運動会となりました。

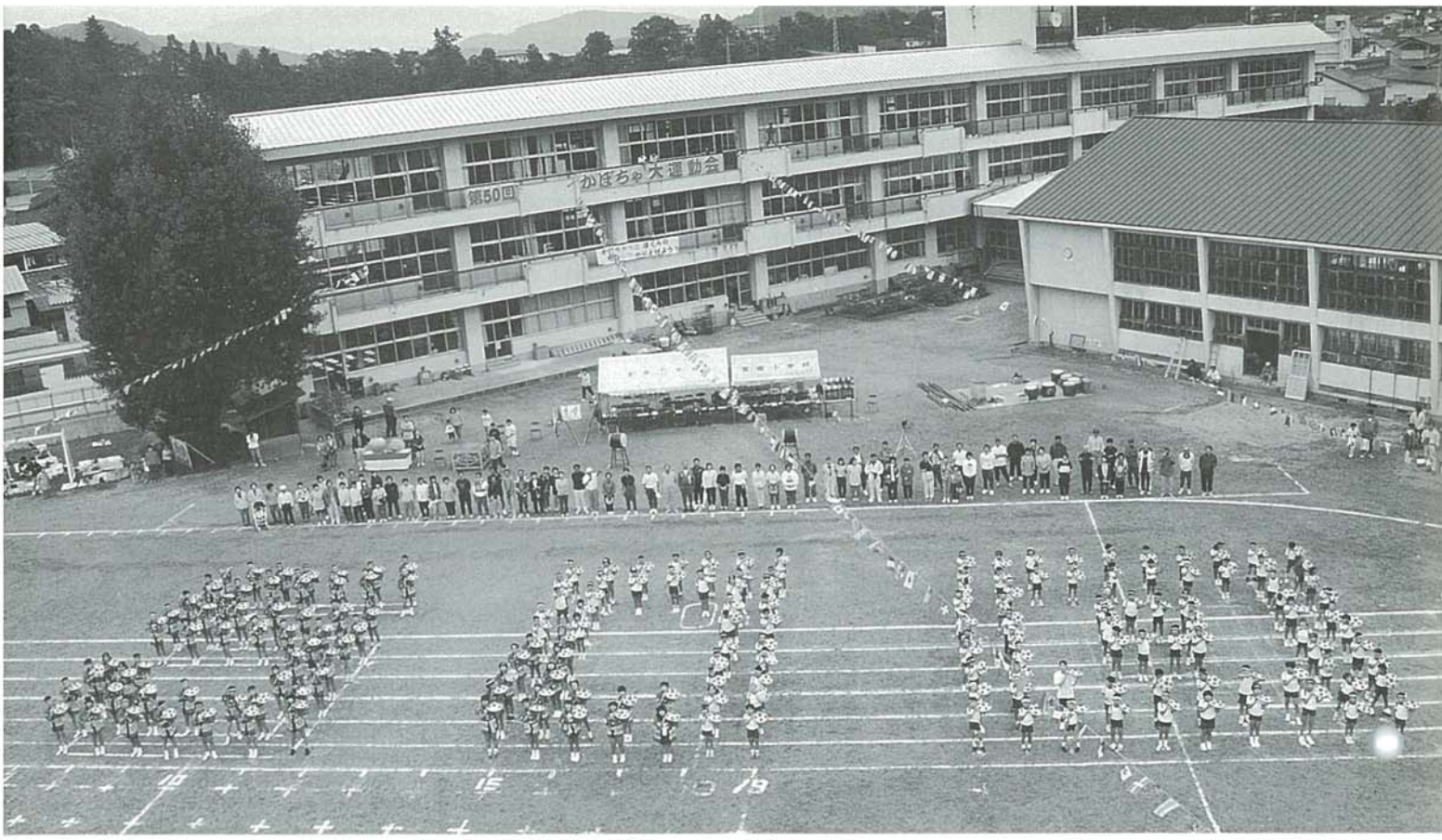
っ子が50歳

ちゃ大運動会

▲シンボルカボチャは熊谷武四さん（新宿）が第１回大会から贈り続けている

▲とことんカボチャにこだわって父兄の競技もカボチャづくし

▲賞品のカボチャをもらってにっこり



▲全校児童182人によるグラウンドいっぱいに描かれた「50回」の人文字

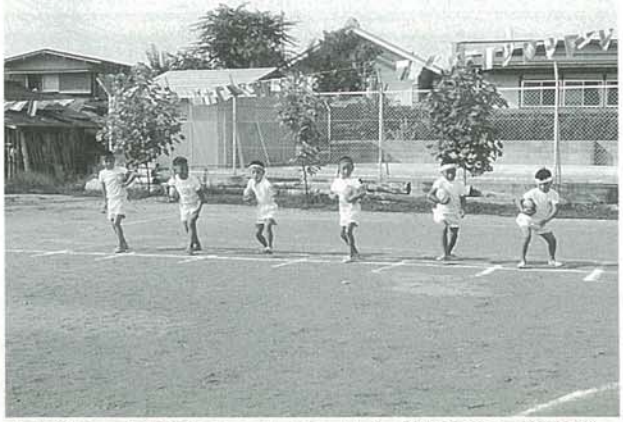
かぼちゃ

第50回かぼ

▲親子三代リレーの賞品だけはカボチャでなくザラ板
今もその伝統は受け継がれている（昭和39年第17回大会）

▲5・6年生による壮烈果敢な擬馬戦（昭和20年代）

昔



▲カボチャを片手にヨーイスタート！（昭和48年・第26回）

カメラさんぽ

まちの話題

まちの話題…❶　第18回朝日町ワインまつり

飲み放題のワインに大満足

朝日町ワインまつりが９月23日、昨年秋に新しく整備された上郷ダム公園で行われました。

18回目を迎えた同まつりには、町内外から約2,000人が参加。前日からの雨の影響で会場はややぬかるんでいましたが、多くの若者や家族連れの朝日町ワインファンでにぎわいました。

今年は赤、白、ロゼ合わせて約2,000㍑のワインと牛肉約800㌔を準備。限定の牛の丸焼きとテールスープ、ウインナーソーセージには長蛇の列ができていました。

参加者は「毎年友達と参加しています。牛肉のバーベキューには赤ワインの渋味が最高。浴びるほど飲んでいきます」と大満足の様子。炭火で焼く町産牛肉と飲み放題のワインを思う存分に味わいながら、朝日町での秋の味覚を満喫していました。

まちの話題…❷　韓国料理交流会

料理による国際交流

韓国料理交流会が９月28日、町中央公民館で行われました。

講師に韓国から松程に嫁いできた鈴木由香さんをお願いし、本場韓国キムチを使った韓国風ピザやビビンバなどの料理に20人が挑戦しました。

参加者は「食材が同じなのにまったく違う味になるんですね。これからも料理を通した国際交流をどんどん開催してほしいです」と語っていました。

まちの話題…❸　ふたば保育園運動会

交通ルールを楽しく学ぶ

ふたば保育園運動会が９月28日、健康増進センターで行われました。

同園の運動会は毎年テーマを設けており、今年は町内で交通事故が多発していることから「交通ルールを守って楽しい運動会」と設定。種目は親子がその場で回転し、目が回ったところで一緒に走る「よっぱらい運転はいけません」や園児をトロッコに乗せて父兄が運転する「ドライビング親子」など。

また、来賓もリンゴの皮をむいてから交通安全を宣誓する「りんごのちかい」に挑戦し、参加者全員が競技を通して楽しく交通ルールを学びました。

まちの話題…❺　100歳を祝い内閣総理大臣より賀詞

佐藤きくのさん（平）

鈴木はつよさん（前田沢）

志藤きくさん（川通）

おばあちゃん いつまでもお元気で

9月24日、内閣総理大臣より満100歳の長寿をお祝いする賀詞と銀杯が贈られました。

めでたく受賞された方々は、志藤きくさん（明治30年4月10日生まれ・川通）、鈴木はつよさん（明治30年9月17日生まれ・前田沢）、佐藤きくのさん（明治30年11月11日生まれ・平）の3人です。

まもなく誕生日を迎えられる佐藤きくのさんに長寿の秘訣をお聞きしたところ、「好き嫌いなく何でも食べ、腹八分目に抑えることだと思います。好きな食べ物は、納豆もちと息子や孫たちの作るリンゴ。リンゴは体にとっても良く薬要らずの食べ物です」と、元気に語ってくれました。

〝きんさん、ぎんさん〟のようにいつまでも3人仲良く、元気に長生きしてください。

まちの話題…❹ おもしろ塾

エアロビでリフレッシュ

エアロビクス教室が10月6日、町中央公民館で開催されました。

同教室は「中央公民館おもしろ塾」が主催となって開催したもので、約30人が参加。塾生でもある小野由美さん（大谷6）が講師となり、エアロビクスのすばらしさや体を動かすことの大切さを楽しく指導しました。

参加者は「仕事や家庭のストレス解消に参加しました。ハードな全身運動ですがとても楽しいです」と息をはずませながら語ってくれました。

まちの話題…❼ 相沢忠洋賞受賞

おめでとうございます

菅井進氏（沼向）が第6回相沢忠洋賞を受賞されました。

この賞は、戦後の考古学界で最大級の発見といわれている「旧石器時代」の発見者故相沢忠洋氏の記念館「相沢忠洋記念館」より贈られたものです。

旧石器発見の日本初は、相沢氏の発掘した群馬県岩宿遺跡と知られていますが、菅井氏は岩宿遺跡より半年早い昭和22年3月、『縄文』という同人研究誌に論文「粗石器に関して」を発表。しかし、当時の学会からは注目されませんでした。今回は、岩宿遺跡以前に旧石器を発見していた功績が認められての受賞となったものです。

菅井氏は「48年後に大隅遺跡が認められとてもうれしいです。これからも町内の遺跡について研究し、新しい遺跡を発見したい」と研究心にあふれていました。

まちの話題…❻　各種大会成績

スポーツの秋到来

いよいよスポーツの秋が到来し、町内各地でさまざま大会が行われました。各種大会の成績は次のとおりです。

◆第10回町民グラウンドゴルフ大会
（9／14　西部地区総合運動場）
総合・男子の部1位　佐藤広勝(宇津野)
女子の部1位　阿部節子（常盤）
小学生の部1位　安藤茂昭（松原）

◆第30回町民ロードレース大会
（9／23　秋葉山交遊館周辺）
●小学男子の部　1.5km
1位　安藤茂昭（上郷小）5分2秒
●小学女子の部　1.5km
1位　鈴木希衣子（宮宿小）5分56秒
●中学男子の部　3km
1位　安藤秀也（朝日中）11分4秒
●女子の部　1.5km
1位　渋谷　恵（朝日中）7分26秒
●高校・一般男子の部　10km
1位　海野宏行（送橋）32分57秒
●一般男子の部　3km
1位　宮本建一（西船渡）12分38秒
●親子の部　1.5km　完走賞
安藤文紀・茂雄　渡辺恭介・佳代子
長岡　愛・利幸　阿部千佳・和寿

◆西村山地区中学校新人総合体育大会
（9／27・28　各会場）
1位　和田哲生（剣道男子個人）
〃　佐藤季莉香（柔道女子個人）
2位　柔道女子団体
3位　卓球男子団体
〃　卓球女子団体
〃　剣道男子団体
〃　剣道女子団体
〃　海野康典（柔道男子個人）
〃　児珠　藍（柔道女子個人）
〃　柴田奈美（柔道女子個人）
〃　石井康博（剣道男子個人）

町民ロードレース大会

みんなのひろば

新婚さん

小原／鈴木　真英さん　直美さん

お二人は神町自衛隊に勤務する自衛官。直美さんは車両、真英さんは107ミリ迫撃砲を取り扱う仕事をしています。真英さんが100人以上いる女子自衛官の中でねらいを定めたのは直美さん。「おっ、いじめがいありそう」と悪気のない？言葉で直美さんをからかったのがことの始まり（本当はち密に計算された行動であったに違いない）。最初は「嫌なヤツ」と思っていた直美さんも「話をしたら、おもしろくて優しい人だった」と真英さんを特別な存在として意識するようになりました。

その後の交際は順調に進み、「山形に映画を見に行こうか」と出掛けたはずのデートが、なぜか朝日町の真英さんの実家にたどり着いてしまったとか。

迫撃砲のごとく、目にも留まらぬ速さで結婚したお二人。「日本の平和も直美の幸せも俺が守る」と、とても頼もしい真英さんでした。

すてきな仲間たち ㉚

「北部いーじーライダース」
風を体いっぱい感じて

今年の春に、バイクをこよなく愛する北部地区の仲間たちで結成されたクラブです。会員は７人と小人数ですが、初心者からバイク歴30年以上の大ベテランまで、20代から50代と世代を超えた幅広いバイク好きが集まりました。

バイクは中・大型が中心で、数百キロもあるバイクを自在に操って走るのは、車とは違った魅力があります。ツーリングは年４、５回予定しており、春には他のクラブの仲間と合同で福島へ行ってきました。

日ごろの仕事の忙しさを忘れて、風を体いっぱい感じて走るのが最高のときです。あくまでも安全運転第一で、これからも北へ南へ走り続けたいと思います。女性会員募集中です。（事務局　石井好秀　☎68－2687）

せんせい わかば保育園 あ・の・ね

（給食時の会話から）

園児Ａ「ぼくのおじいちゃんの名前は○○太郎だよ」

園児Ｂ「あっ、ぼく太郎っていうどござ行ったことあるよ」

保　母「あー、そうか太郎という所あるもんね」

保　母「Ｃちゃんのおじいちゃんの名前は？」

園児Ｃ「正直じいさん」

保　母「えっ・・・」

ひとことトーク

献血は健康のバロメーター

～愛の献血250回を達成～

川口　正幸さん
（大暮山）

献血を始めたきっかけは、消防団の本演習のときでした。毎回献血をするようになったのは、自分の健康に関心を持つようになった三十歳のころからです。

献血後に送られてくる生化学検査結果や献血前の医師による問診が健康管理に役立つし、人のためにもなることから、正に一石二鳥だと思いました。

現在は月二回、夜勤明けなどに赤十字血液センターで成分献血をしています。最近は献血前の健康診断が特に厳しくなり、本当に健康体でないと献血できないようです。

私も一時血液検査結果が悪く献血できないときもありました。そのため二カ月間禁酒をしたこともあります。いつの間にか献血をするために健康に気をつけるようになったようです。これからも献血を続けていきます。

企業ほうもん㉔

菅井建具店

清水工業団地内
電話　FAX　67－7255

コンピュータを使った最新式の機械設備を導入

清水工業団地にある工場

社長／菅井伸彦さん

▼菅井建具店を紹介してください。

昭和五年に祖父が指物（さしもの）大工として始めたのがきっかけです。父の代から木製建具を製造しており、私で三代目になります。現在は、山形市内を中心とした大手住宅メーカーに納品しています。

▼いつも心掛けていることは何ですか。

当たり前のことですが、誠心誠意手抜きなしで建具を仕上げるようにしています。お客様が何を求めているのか、常に対話を重視するようにしています。

▼お客様の反応はいかがですか。

父の技術に追いつけるように勉強中ですが、障子一枚でもお客様が困っているときは、即座に対応していますので、大変喜ばれています。

▼これからの抱負を聞かせてください。

昨年、建具工事の県知事登録を取得しましたので、その名に恥じないよう努力していきます。そして、できるだけたくさんの人に自分が作った建具を使ってもらえたら幸せです。

町民の声

みなさんからのお便りでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、楽しい話題、イラスト、
質問など待っています。

〔あて先●朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係〕

利用者に新しい情報を

い つも「広報あさひまち」をお送りいただきありがとうございます。六月号から掲載されました「朝日自然観だより」は、利用する側の者にとってはうれしいかぎりです。妻などは自然観の料理のすばらしさが忘れられないと事あるごとに言っています。

これからも利用者のために新しい情報を教えてください。

【齋藤暢男・宮城県】

答 貴重なご意見ありがとうございます。朝日自然観は、民営化に向けて重要な時期を迎えておりますが、今後とも広報あさひまちや季節ごとのお便りなどにより、情報発信に努めてまいりたいと思います。

また、より多くのお客様の声に耳を傾けながら、みなさんに愛される朝日自然観をめざして努力いたしますので、今後ともよろしくご指導お願いいたします。

【朝日自然観】

町道の名称の付け方は

広 報あさひまち九月号で「町道栄町前田沢線開通」の記事が掲載されていました。その写真を見ると新宿地区が写っているのに、なぜ「町道栄町前田沢線」と呼ぶのでしょうか。たくさんの新宿区民が事あるごとに話している話題ですので、町道の名称の付け方について説明をお願いします。

【匿名希望】

答 町道の名称については、道路法などによる定めはありませんが、一般的にその土地の地名を使用しています。

しかし、町道が二、三集落にまたがる場合は、起点から終点の地名を並べて使用するのが慣例となっております。

「町道栄町前田沢線」の場合は起点が栄町で新宿を通り終点が前田沢となりますので、このような名称となっています。

【建設課】

楽しかった夏まつり

広 報あさひまちを毎月楽しみに見ています。今年で二回目の「りんごの町の夏まつり」は大変良かったと思います。各集落の郷土芸能を〝手づくりのイベント〟で見れたことは、本当に良かったと思います。

【長岡大輔・常盤】

今 年の夏まつりは、孫たちがとても楽しかったと言っていました。東京の孫たちもぜひ来年も来たいと言っていましたよ。

【志藤アヤ子・前田沢】

答 お便りありがとうございました。観客のみなさんにお願いしたアンケートでも「楽しかった」や「おもしろかった」などといった感想をいただき、実行委員一同喜んでいるところです。

今年は郷土芸能の共演やフリーマーケット、花火大会などを開催しましたが、来年はどんな夏まつりになるのか楽しみにしていてください。

【企画課】

信号機が設置されます

宮 宿小学校入り口の国道287号線に押しボタン式信号機がつきました。十月九日から作動しましたので、より一層の交通安全をよろしくお願いします。

また、町内で事件や事故が発生した場合に被害届を出さないケースが見受けられます。重大事件との関連や再発防止の上からも必ず被害届を出すようにお願いします。

【土岐勝義・朝日町交番所長】

広報◆クイズ 図書券が当たる

【問題】
①右の写真は九月三十日に開催された「○○○○全町民大会」
⑦九月二十日から山形県で開催された「○○りんピック」
③満百歳を迎えた方は町内に「○人」

【応募方法】
正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、答えの下に広報の記事について感想をお聞かせください。お願いします。

【九月号の答え】①カヌー②一の五と二の二③カモシカ

【応募者総数】二十人

【九月号の当選者】鈴木紀さん(本町)・加藤美幸さん(西町)・長岡大輔さん(常盤)

こせきのまど

■9月1日～30日届出

すこやかに
（出生届）

区名	出生児氏名	保護者名
太郎二	相座雄優（ゆう・や）	裕行
太郎二	朽木瑠佳（る・か）	昭博
立木	阿部留佳（る・か）	博
八ツ沼	海野静哉（しず・や）	高志
送橋	相座亮太（りょう・た）	正直

おしあわせに
（婚姻届）

伊藤穣治（能中）	♥	中村祐美（寒河江市）
鈴木勇二（天童市）	♥	川村郁恵（真中）

やすらかに
（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
西原	阿部広行	祐吉
常盤	佐竹達雄	美由
西町	菅井昭子	敏夫
太郎一	長岡平治	智
小原	鈴木ふゑ	敏則
元町	鈴木静	勇夫
下芦沢	大滝博美	敬一
四ノ沢	石塚茂二	清野庄一郎
八ツ沼	阿部とし子	志良
前田沢	今井つね	俊助
大隅	鈴木政次郎	敏夫
大谷五	五十嵐崇明	きみよ
太郎一	清水庄兵衛	ますゑ

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成9年9月30日現在

人口		9,887（減 6）
	男	4,913（減 3）
	女	4,974（減 3）
世帯数		2,588（増 1）

（ ）内前月比

くらしの知恵袋 ⑭

堀　智江さん（舟渡）

酸味のきいた菊花の甘酢漬けとナメコ合えを紹介します。菊花の秋の香りを楽しんでください。

◆菊花の甘酢漬け

《材　料》菊花100ｇ（ガクを除く）・甘酢（酢カップ半、砂糖大さじ3杯、塩小さじ1杯）・酢大さじ4杯

《作り方》①菊花の芯の周りは苦味が強いので取り除いて洗う。

②鍋に湯を煮立たせ、酢大さじ4杯を入れてよくかきまぜ、水切りした菊を入れる。

③菊の色が変わったらザルに上げて、そのまま冷やす。この時、手で堅く絞ると歯切れが悪くなりうま味が抜けるので、手のひらの間で軽く押しつける程度にしておく。

④酢（好みで加減）、砂糖、塩で甘酢を作り、その中に菊を入れる。冷蔵庫に入れておけば1カ月は持ちます。

◆菊花のナメコ合え

①ナメコを鍋でからいりし、味しょうゆで味付けをする。

②①に南蛮粉を好みで入れて、湯がいた菊と合わせる。酒のつまみに喜ばれます。

《一言メモ》

◆菊の冷凍　甘酢漬けの①～③のとおりにゆで、ザルに取ったら冷水で冷ます。空気を抜いて冷凍庫へ。解凍は凍ったまま袋ごと水に浸ける。

夢⑦ かなうといいな

今月は西五百川小学校六年生です

●ドラフト一位で横浜ベイスターズに入団し、オールスターに出場してペナントで優勝したい。引退したら朝日野球スポ少の監督をします。

阿部正継・常盤

●病気で苦しんでいる人たちを少しでも助けるために看護婦になりたい。じいちゃん、ばあちゃん病気になったときは私が助けてあげるね。

阿部奈穂美・夏草

●人の世話をするのと、おじいちゃん、おばあちゃんの喜んだ笑顔がとても大好きです。将来は老人ホームなどの施設で働きたい。

向　梨恵・松程

●僕のお父さんは農業をしています。お父さんの働いている姿はとてもカッコイイです。将来ぼくも農業をして、リンゴ御殿を建てるぞ。

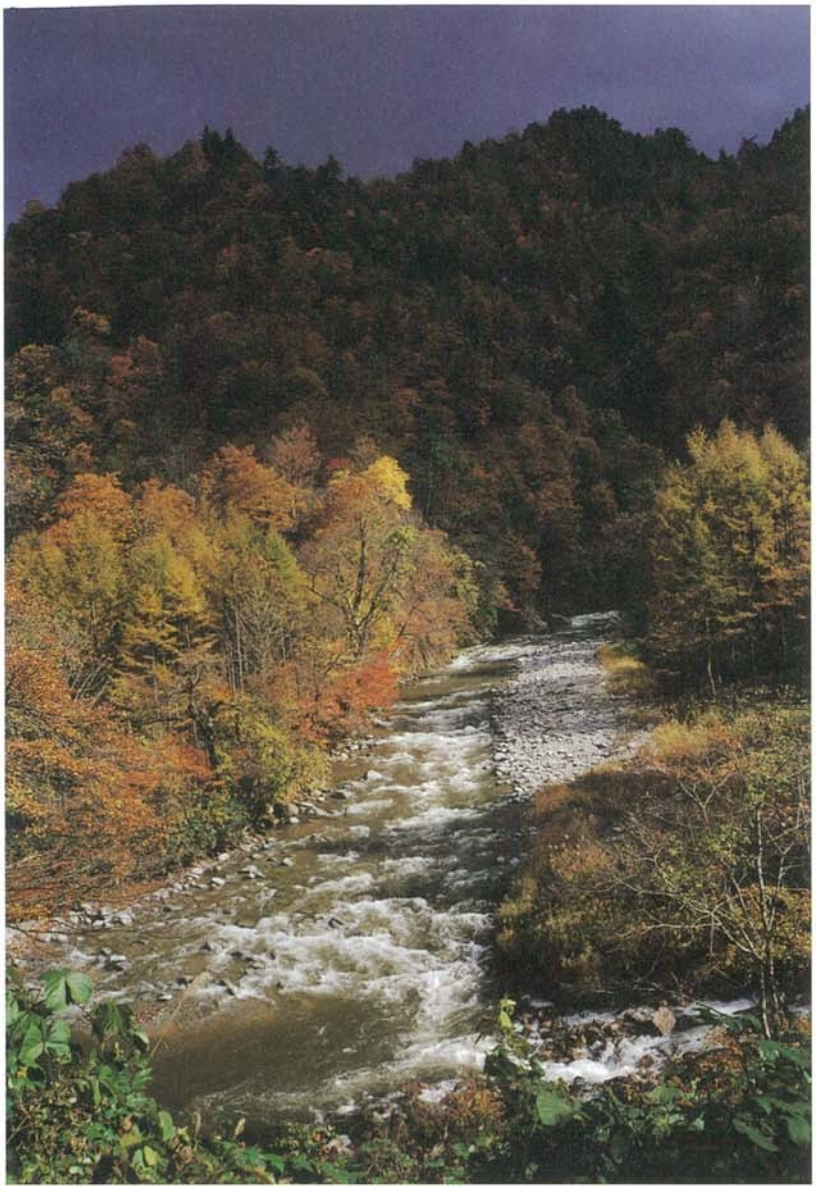
海野師輝・能中

町立図書館 新刊情報

▼ジョンがポールと出会った日（ジム・オドネル）▼連れそって快老看取って満足（斎藤茂太）▼加藤シズエの遺言（加藤シズエ）▼エクスカリバーの宝剣（バーナード・コーンウェル）▼おやじの説教、若者の言い分（三浦朱門）▼タイガー・ウッズ伝説の序章（ティム・ロザフォート）▼ウィルス感染爆発（NHK）▼スペンサーヴィル（ネルソン・デミル）▼横浜富貴楼お倉（鳥居民）▼密入国ブローカー（相川俊英）▼鉄道員（浅田次郎）▼憲法から斬る（佐高信）

■広報あさひまち　第491号　平成9年10月15日発行　■発行　山形県朝日町　■編集　朝日町広報委員会／山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷　豊田太印刷所

朝日町十景写真コンテスト入選作品⑧



●入選　「晩秋の白滝」

■撮影者
落合登喜雄さん（大町）

昔から白滝は、キャンプ場や釣り場にと多くの町民から親しまれてきた。今、朝日連峰の登山口として有名な白滝はアウトドアのメッカとなっている。朝日川清流の好きな撮影場所の一つである。

「白滝より　ホースマンHR―1」

交通事故に気を付けてね！

「オレの前でスピードを出してはいかん」と、ドライバーをにらみつけているカボチャのだるまさんは、朝日町交番勤務の「パンプキンポリスマン」。九月十七日付けで、育ての親である浅岡拓也くん（西町・宮宿小三年）に勤務を命じられました。

町内で多発する交通事故を防止するため、日夜見張り続けているそうです。ドライバーのみなさん、くれぐれもスピードを出し過ぎて、交通事故など起こさないようにご注意を!!

春　夏　秋　冬

編集後記

スポーツ、文化、読書、食欲の秋。町内各地でレクリエーションや芋煮会など、各種イベントが開催されました。

そこで気になるのが雨。今年の秋は週末ごとに雨が降り、楽しみにしていたレクリエーションが体育館で行われたり、旅行がつまらなくなったりと、雨でがっかりさせられた方も大勢いるのではないでしょうか。

天気が悪くなるとがっかりするのは広報マンも同じ。イベントが雨で台なしになったり、中止になったりとさんざん。稲刈りできなかった農家の方も大変だったでしょうが、広報マンにとっても、つらい秋になってしまいました。

「天高く馬肥ゆる秋」のことわざどおり、スカッとしたさわやかな秋晴れの下で芋煮会やスポーツを楽しみたい。広報マンのささやかな願いです。（岡）